

Q 為替市場における取引高。一番多いのはやっぱり米ドル？

A 米ドルです。取引高の通貨別シェアでは、全取引高の約40%を占めています。また、通貨の組み合わせでも対米ドルの取引が全体の約90%となっています。

為替市場での取引は、米ドルとユーロ、日本円の3通貨が圧倒的なシェアをもっており、その割合は3通貨合計で約70%となっています。また、この3通貨のシェアはおよそ10年前と比べても大きくは変わっていません。このため、為替相場は、各国のそれぞれの要因で変動するケースもありますが、多くはこの3通貨の動向、特に米ドルの動きに影響されるといえます。

また、通貨ペア（米ドル円など2つの通貨の組み合わせ）では、米ドルとの組み合わせが全体の約90%となっています。中でも、米ドルとユーロの取引量が最も多く、1日の平均取引量は、1兆1,718億米ドル（約125兆円*）にもなっています。

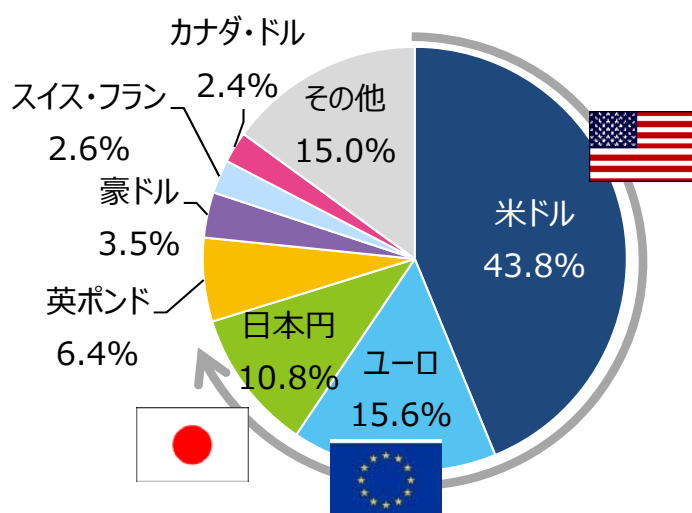
なお、世界の通貨の取引量は近年、一段と拡大しています。その背景には、中国やインドなど新興国の著しい経済成長です。これらの国・地域が発展したことで、主要通貨以外の通貨による取引も活発化しており、取引量合計で、2016年は対2001年比で4倍の金額となる5兆670億米ドル（約541兆円*）となりました。

*1米ドル = 106.83円（2016年4月末時点）で円換算

為替市場で圧倒的なシェアをもつ「米ドル」

■ 為替市場における通貨別取引高のシェア

（2016年の4月の月間1日当たりの平均取引高）



■ 為替市場の通貨ペア別取引シェア

（2016年の4月の月間1日当たりの平均取引高）

通貨ペア	取引量 (億米ドル)	シェア (%)
1 米ドル/ユーロ	11,718	23.1
2 米ドル/円	9,008	17.8
3 米ドル/英ポンド	4,698	9.3
4 米ドル/豪ドル	2,620	5.2
5 米ドル/カナダドル	2,183	4.3
6 米ドル/中国元	1,922	3.8
7 米ドル/スイスフラン	1,804	3.6
8 ユーロ/英ポンド	998	2.0
9 その他 (対米ドル)	10,422	20.6
10 その他 (対ユーロ)	3,189	6.3
上記以外	2,107	4.2
合計	50,670	100.0

（注）四捨五入の関係で、合計が100%とならない場合があります。

（出所）BIS（国際決済銀行）のデータを基に三井住友アセットマネジメントが作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。